

一般社団法人下松工業会とは

下松工業会には「何も期待するものやメリットがない」という声を耳にします。そこで、下松工業会を正しく理解して頂きたく、要点の幾つかについて定款を基に説明します。

目的

この法人は、下松工業高等学校における生徒の資質向上及び教育の振興に向けた支援並びに会員相互の交流及び啓発を図り、工業高校教育の充実発展に寄与することを目的とする。

事業

生徒への支援並びに教育及び工業技術の振興に関する事業。
二、会員の交流と啓発に関する事業。
三、以一降一

【解説】

当法人は同窓生の共益が目的ではなく、あくまで公益事業を行うものです。つまり、母校を支援すること、で工業高校教育の充実発展を図ろうとするものです。そのために次のような事業を行っております。

- ①育英奨学金事業 毎年三名、三年間支給。
②文化体育部への支援 全国大会等への出場や母校引き受け文化体育大会への支援
③学校課題研究等への支援
④学校長から特に要請あったもの。

一方で、そうした事業を行うためには会員の結束が

必要ですので、総会、講演会、支部活動、機関誌の発行、親睦行事（会費制）を行っています。

法人の構成員

山口県立下松工業高等学校（旧制含む）を卒業した者（教職員も含む）の内、この法人の事業に賛同して入会した者とする。

【解説】

卒業生イコール下松工業会会員ではありません。本会事業に賛同して頂き年間会費（千円）を支払って頂いた方が会員として会員のみが対象となります。

以上、要点のみについて説明しました。現在、消息の分かる会員は約一万名。その内、本会に入会されている方は千七百名です。大変厳しい運営を強いられています。どうか本会の事業目的に賛同頂き、一人でも多く入会して頂きますようお願い申し上げます。

【お願い】

下松工業会に対し不明な点や質問のある方は事務局まで、書面又はネットでお申し出下さい。

平成二十三年度 母校支援事業

育英奨学金 三十六万円
文化体育助成 二十万円
平成二十四年度（十一月現在）
育英奨学金 五十四万円
文化体育助成 九万円

支部紹介

今回は、現在活動している地域支部及び企業OB支部について紹介します。

東京支部（関東地区）	支部長 岡野 傳司 C 40
事務局 藤井 和良 M 45	
東海支部（東海地区）	支部長 石原 佳雄 M 17
支部長 棚田 貴 E 31	
事務局 山田 顕士 E 54	
七ヶ九月頃、名古屋市内王温泉「喜多の湯」にて湯に入り、懇親会。	
広島支部	支部長 江村 克己 M 34
支部長 江村 克己 M 34	
副支部長 江村 栄治 E 43	
事務局 江村 克己	

支部長 藤沢 宏司 E 56	
事務局 有永 房夫 E 42	
二月、地域問わず近隣からも参加。発足時から豪華賞品の当たるジャンケン大会。優勝は自転車。	
熊毛支部	支部長 林 通生 M 32
事務局 阿川 勇 C 31	
七月上旬、勝間ふれあいセンターにて懇親会。	
光支部	支部長 林 洋司 M 30
事務局 山本 和男 M 36	
七月初旬、ホテル「松原屋」音楽演奏を始めとし趣向を凝らした余興は好評。	

支部長 植中新太郎 C 39	
副支部長 藤田 文明 M 35	
事務局 藤尾 博之 C 35	
下松工業会館にて。四月花見、六月総会（懇親会）、九月月見の会。	
日石OB支部	支部長 山本 周史 C 33
事務局 濱谷 和昌 C 36	
六月下旬、下松工業会館にて懇親会。	

支部長 植中新太郎 C 39	
副支部長 藤田 文明 M 35	
事務局 藤尾 博之 C 35	
下松工業会館にて。四月花見、六月総会（懇親会）、九月月見の会。	
日石OB支部	支部長 山本 周史 C 33
事務局 濱谷 和昌 C 36	
六月下旬、下松工業会館にて懇親会。	

支部長 植中新太郎 C 39	
副支部長 藤田 文明 M 35	
事務局 藤尾 博之 C 35	
下松工業会館にて。四月花見、六月総会（懇親会）、九月月見の会。	
日石OB支部	支部長 山本 周史 C 33
事務局 濱谷 和昌 C 36	
六月下旬、下松工業会館にて懇親会。	

支部長 植中新太郎 C 39	
副支部長 藤田 文明 M 35	
事務局 藤尾 博之 C 35	
下松工業会館にて。四月花見、六月総会（懇親会）、九月月見の会。	
日石OB支部	支部長 山本 周史 C 33
事務局 濱谷 和昌 C 36	
六月下旬、下松工業会館にて懇親会。	

本部三役との初会合

母校文化祭への参加

十一月十七日（土）母校の文化祭が開催された。今回は雨のため、行事は全て屋内で行われた。この数年毎回参加しており、これまでに芸術文化作品の展示、化学実験、手品、オカリナ演奏などを行った。今回は写真、俳句、川柳、短歌の展示並びに紙芝居を上演した。出品者は次の通り。

川柳	小西 守（C 20）
利長貞男（C 35）	
儀部征夫（C 36）	
秋葉敏子（C 40）	
栗田一郎（C 40）	
小林孝二（C 40）	
短歌	浜田道子（C 35）
紙芝居	奈良山孝司（MH 3）



女子会やクラブへのご案内

代表 藤本弘子

藤田 圭子 C 34	
金近 弘子 C 39	
福永知佐子 C 42	
久保田真裕美 E 47	
中本 知子 E 47	
柴田美代子 E 47	
藤本 弘子 E 47	
星野 里美 E 47	

クラス会情報

有意義な一時

平成二十四年八月十一日 E 49
八月十一日、四年ぶりのクラス会を「LAST同窓会in五十代」と銘打って無事に開催しました。残念ながら卒業生全員の参加とは行かず七十九名の卒業生に対し二十四名（兼田、古谷先生含む）の参加でしたが、盛大に行うことが出来ました。

M二十七会新年会

平成二十四年一月二十七日 弘実 法造

M二十七会は近郷在住者二十一名です。しかし、節目には、還暦祝同窓会（四十四名）、古希祝同窓会（三十三名）を開催し、何れも母校を全員で訪問しております。本年は傘寿になりましたので、この新年会で実行委員会を結成し、全国の同窓生に呼びかけ、人生最後の傘寿同窓会を十月に開催します。

人生八十年の総決算

平成二十四年十月二十日 M 27 清水 英雄

E 49
この度は残念ながら全員の参加とはなりませんでしたが、昭和二十七年機械科卒業生九十六名は末武平野の緑の校舎を卒業して、六十歳の歳月が流れました。今年には傘寿を迎えますので、人生八十年の総決算としての記念同窓会を周南地区在住の幹事十六名で運営し、笠戸島ハイットで実施しました。母校創立九十周年記念同窓会祝賀会のCDを楽しみながら、懇親会に入り、最後に校歌を斉唱し、万歳三唱で締めくくりました。

その他のクラス会開催状況

平成二十二年一月、二十四年十二月

平成二十二年	四月五日	三十八名	下松、国民宿舎「大城」
C 35			
幹事	梅本、朝顔、国沢		
C 39	五月十四日	二十八名	下松、割烹「小桜」
M 34	五月十五日	十六名	植中、原田、藤田
幹事	植中、原田、藤田		
C 34	六月二十二日	二十三名	箱根根羅温泉
幹事	高濱照彦、大西徹典		
M 35	十二月二十六日	二十四名	下松工業会館
幹事	下松工業会館		
M 48	四月二十三日	五名	橋本暢公
幹事	橋本暢公		
C 26	十一月十八日	二十名	下松、きらぼし館
幹事	下松、きらぼし館		
E 55	十二月二十九日	二十五名	徳山、ホテルサンルート
幹事	松村祥一郎		

平成二十四年

既報 下松工業会では、クラス会開催に関し、次のようなお手伝いを致します。

- ・会場幹旋
- ・クラス会名簿、住所氏名
- ・タックシールの提供
- ・案内状の作成・発送
- ・ご気楽にご相談下さい。



M27



C26



E55

◎彩沢寮OB会

彩沢寮OB会 開催しませんか。という声を良く聞きますが実現が難しいようです。工業会事務局がお手伝いします。各卒年、或いは三年のスパンで開催しませんか。幹事さんをお待ちしています。

母校クラブ活動を支援しよう

母校クラブ活動支援の一環として、各クラブ活動のOB会を立ち上げたいと思います。下松工業会としてもお手伝いしますので、ご賛同頂ける方は、是非ご一報下さい。

会長	山根 敦生
副会長	梅本 貞則
幹事	青木 義雄
幹事	佐久田 隆次
幹事	仁科 昭行
幹事	砂田 俊英
幹事	丸山 逸史
幹事	中村 達朗
幹事	山本 佳男
幹事	森川 真史
幹事	中光 勝利
幹事	清水 邦安
幹事	北風 正幸
幹事	山根 忠則
幹事	岩本 佑樹
幹事	岡田 貴生
幹事	両国 夏子
幹事	赤瀬 真奈美
幹事	森野 茂弘
幹事	藤井 寧夫

野球部OB会 創立 平成十二年五月十九日
創立趣旨
・OB会員の緊密な連携
・甲子園出場時の応援体制の整備強化
・甲子園出場時の募金活動
・後援会組織との連携
・活動状況
・母校野球部への物心両面の支援
・会員相互の親睦
・会員の動向と名簿の整備
・定期役員総会の開催
・大会の都度OBへの応援の呼びかけ
・後援会行事への参加・協力
・全会員へ、OB会及び母校野球部の活動報告
・会員数

会長	河野 友治
副会長	岡崎 敏彦
理事	守野 利明
理事	山根 修一
理事	渡辺 勇典
理事	松本 修一
理事	岩村 隆義
理事	宮崎 宏司
理事	原田 義海
理事	東藤 寿輝
理事	上本 光義
理事	内藤 繁昭
理事	琴野 之昭
理事	坪本 繁昭
理事	宝島 洋之
理事	末長 正巳
理事	赤道 一志
理事	伊東 育正
理事	笹尾 義弘
理事	石丸 英弘
理事	永岡 好史
理事	清水 良雄
理事	吉水 徹美
理事	村倉 正一
理事	戸島 京一
理事	藤島 伸一
理事	林 為伸

平成24年度 母校部活動戦績

●ハンドボール	
中国高等学校選手権大会山口県予選会	4/14~4/16 準優勝
中国高等学校選手権大会	準優勝
全国高校総体山口県予選会	6/2~6/4 準優勝
国民体育大会（山口選抜に4名出場）	準優勝
山口県体育大会兼新入大会	11/3~11/5 第4位
●ソフトテニス	
県高校総体（団体の部）	6/2 ベスト8
県高校総体（個人の部、ペア）	6/3 ベスト8
第55回中国高等学校選手権大会出場	7/21~7/23
●弓道	
中国高等学校弓道選手権大会	6/22~6/24 団体8位
中国高等学校弓道新入大会	11/15~11/18 団体4位
中国大会予選	4/21 団体優勝
県総体	6/2,6/3 団体2位
中国新人予選	9/22 団体3位
選抜予選	11/3,11/4 団体2位
●剣道	
全国高校総体出場	8/6~8/9
中国高等学校剣道選手権大会	6/15~6/17 個人優勝
中国大会予選	4/21,4/22 団体3位
山口県高校総合体育大会	6/2,6/3 団体1位
山口県体育大会	11/10,11/11 団体1位
山口県体育大会	11/10,11/11 個人3位
●柔道	
県大会	個人2,3位
●登山	
全校高等学校総合体育大会	8/7~8/11 団体男子3位
中国高等学校登山大会	10/26~10/28 団体男子9位
山口県高等学校総合体育大会	6/2~6/4 団体男子優勝
中国高等学校登山大会山口県予選会	9/14~9/18 団体男子2位
山口県体育大会 登山競技	11/11 男子縦走の部（個人）1位,2位
●吹奏楽	
第61回全日本吹奏楽コンクール山口県大会	8/3 金賞
高等学校小編成部門	